



## 「私はこうして欲しい。」という望みを普段から家族と話す事が大切だと思います。

<介護棟にご入居の大嶺様のインタビューをお伝えします>

### 入居されたきっかけを教えてください

入居前は家族に手伝ってもらいながら自宅で生活していましたが、脳梗塞をきっかけに思うように生活が出来なくなりました。「自分の事が出来なくなったら老人ホームに入る」と決めていましたので、これを機に、家族に頼んで施設を探してもらいました。

家族から「施設入居」の話は言いにくいと思うので、「私はこうして欲しい。」という望みを普段から家族と話す事が大切だと思います。

### 入居して良かった事

食べる喜びは生きる力を呼び起こす！ 食事が美味しくて毎日楽しみです！ 先日も友人と「この美味しいマンゴーを来年も食べようね！」と話しました。最近のリクエストに応じてもらい、タコスやお寿司、\*1カンダバーじゅーしーなど普段と変わったメニューで楽しませてくれます。献立を見るのも楽しいし、次回のステーキを\*2まちかんでいーしています(笑)。厨房のスタッフが、食事を通して私達を明るい気持ちへ向けるように考えてくれている事を感じますし、たくさんスタッフがここでの生活に関わってくれることに感謝しています。

また、長く入居していると同じグループの方で介護が重くなっていくのを目の当たりにすることもあるけど、その時々でスタッフの対応が入居者の状態に合わせて変化していくのを見ると安心します。

- \*1 カンダバーじゅーしー：沖縄風雑炊の事で伝統的な料理。  
沖縄の方言で「カンダバー」は芋の葉、「じゅーしー」は雑炊のこと。
- \*2 まちかんでい：沖縄の方言で「待ち遠しい」

### 今の生活について

部屋は完全個室で、トイレも部屋に付いている事が気に入っています。自分の部屋にいる時は、音楽CDを聴いたり、DVDを観たりして過ごしています。今はダークダックスのCDが欲しいです。(笑)

グループのみんなが集まるリビングからは海や庭の植物などを見ることが出来ますし、夜景を見ながら「幸せだなー♪」と感じています。



大嶺 様 (95 歳)

2015年に沖縄県那覇市よりご入居。コロナ禍でもオンライン面会等で家族の愛情を感じて、「毎日幸せです」と満面の笑み。入居され7年目！入居当初は多数の方と一緒に生活することへの戸惑いもあったようですが、今では円滑にコミュニケーションが取れ、スタッフにもいつも感謝の言葉をかけて下さいます。



琉米親善週間  
国際婦人クラブパーティーにて  
芭蕉布の着物を羽織る大嶺様